

ビジネス拠点・新規立地をご検討中の企業様へ

企業立地のご案内

 千葉県そうさ匝瑳市



成田空港近接、都心まで1時間。匝瑳市で共に広げるビジネス。

SOSA CITY

ぜひ、本市への立地をご検討ください

そうさ
匝瑳市では令和5年度末に、地域高規格道路である銚子連絡道路のI.C.が開通しました。また銚子連絡道路が接続する圏央道(千葉県区間)の開通も令和8年度に予定され、広域的な幹線道路ネットワークの整備進展が見込まれています。さらに令和10年度には、成田国際空港の更なる機能強化が予定され、本市の利便性がますます向上することが期待されます。

私の重点施策として、I.C.周辺の産業用地整備とトップセールスによる企業誘致を掲げており、新たに専門部署を設置して本事業を強力に推進しております。I.C.周辺の産業用地は、地下水の取水制限がないことに加え、ハザード面においても浸水想定区域がなく、安心して企業活動が行える環境にあります。

地域経済の発展において企業の皆様は必要不可欠な存在です。市では、企業の皆様が安心して事業を展開できる環境を整えるため「企業立地相談窓口」を設置しています。千葉県と連携を図りながら行政としても全力で支援してまいりますので、ぜひ本市への立地をご検討ください。

匝瑳市長 宮内康幸

匝瑳市の概況

匝瑳市プロフィール

匝瑳市は、千葉県の北東部に位置し、東京からは70km圏、成田空港からは車で30分の距離にあります。市の中心部をJR総武本線と国道126号が東西に走り、成田方面とは国道296号で結ばれています。

市の総面積は約101km²で、みどり豊かな恵まれた自然と歴史のある街です。

市の北部は、谷津田が入り組んだ複雑な地形の台地帯となっており、里山の自然が多く残されています。南部は、平坦地で市街地を除いてほとんどが田園地帯となっており、白砂青松の続く九十九里海岸に面しています。

気候は海洋性の温暖な気候で、年間平均気温は16度、東京周辺に比べると、夏は涼しく冬は暖かい、とても過ごしやすい土地柄です。冬でもほとんど降雪は見られません。



脱炭素先行地域

匝瑳市では、2050年の脱炭素社会実現に向け、「匝瑳市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、取組の一環として、令和5年11月に環境省が指定する「脱炭素先行地域」に千葉県内2例目として選定されました。本事業では、2028年度までに他自治体に先行して脱炭素化を推進するモデル自治体となることを目指していきます。令和7年1月には環境大臣が視察に訪れるなど、匝瑳市の脱炭素の取組は全国的に注目を集めています。

街並み



JR 八日市場駅



ホームセンター「カインズ」



スーパーマーケット「カスミ」



海と緑に包まれた どこか懐かしい 匝瑳の風景

春は市内各所で花々が咲き、夏は祭りにマリンスポーツが楽しめる、匝瑳市の自然に満ちた日常風景をご覧ください。

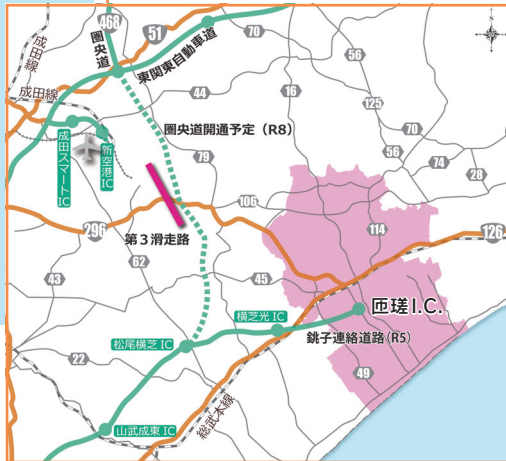


■ データ (令和7年2月末時点)

面積: 101.48km²

人口: 33,180人

世帯数: 14,956世帯



位置図

アクセス

東京		JR総武本線東京駅から 特急しおさいで 90分	匝瑳
		JR総武本線特急しおさい	
東京		バスターミナル東京八重洲から 高速バスで 100分	匝瑳
		高速バス	
成田		東関東自動車道・成田I.C.から 車で 30分	匝瑳
		成田I.C.から 25km	



国保匝瑳市民病院



敬愛大学八日市場高等学校



県立匝瑳高等学校

産業用地整備の基本方針

匝瑳I.C.周辺地区に整備する
産業用地の役割

農林水産業、観光業等の地域産業との連携、グローバル展開可能な立地を活かし、「賑わいと交流の創出」「先端的な産業の集積」を二本柱として、匝瑳市の未来を拓く産業用地を目指します。

また、既存の地域産業を活性化するとともに、多様な職種の新たな雇用を創出し、若年層を中心とする定住・移住を促進します。

地域と連携する
“食”と植木

賑わいと交流の創出

- ・農林水産業や観光業等と連携する産業の創出(“食”に関連する産業、見学や体験ができる工場等)
- ・国内外から集客する拠点形成(地場産品や植木の販売、レストラン、イベント開催等)

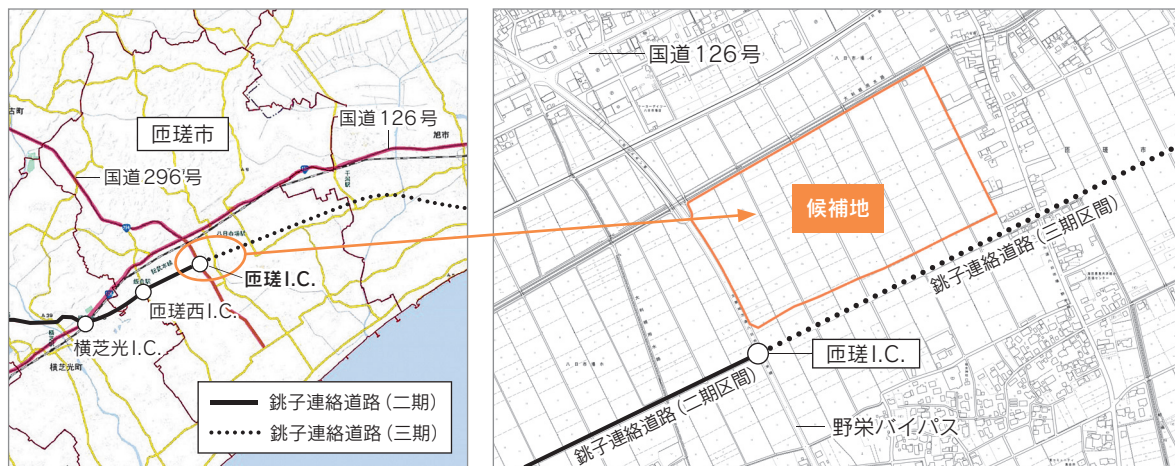
将来性豊かな
成長産業

先端的な産業の集積

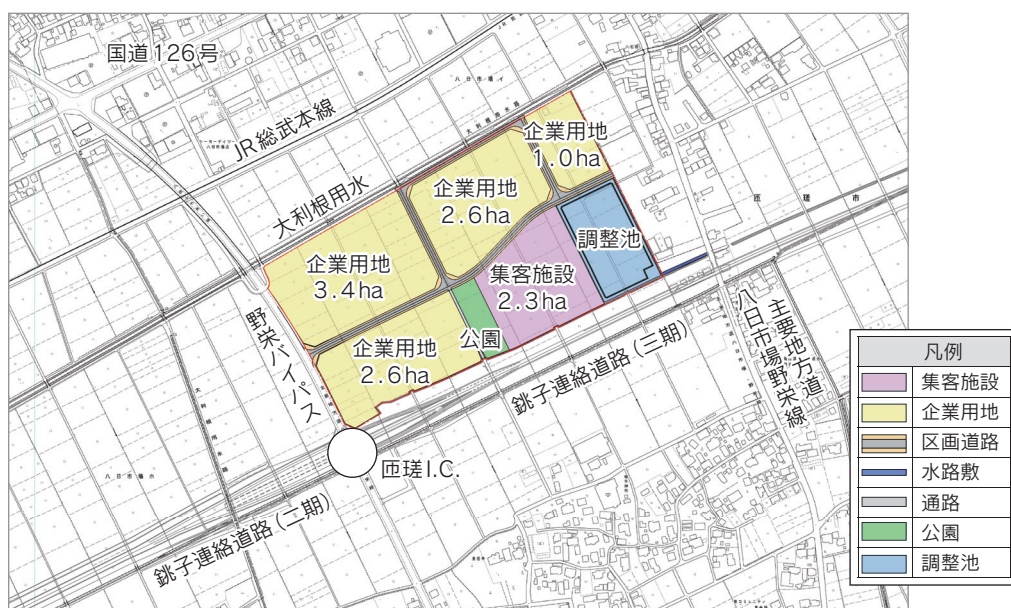
- ・成田国際空港への近接性を活かした産業の立地(航空物流、機内食の製造等)
- ・将来性豊かな成長産業の誘致(デジタル関連産業等)
- ・市内企業の増設・移転の受け皿

成田国際空港への近接性を活かした
グローバル展開

匝瑳I.C.周辺の位置図



土地利用計画図



※現時点の土地利用計画図であり、今後の検討により変更となる可能性があります。

開発イメージ図



※現時点の開発イメージ図であり、
今後の検討により変更となる可
能性があります。

POINT!

災害リスクなし

- ☑浸水想定区域なし
- ☑土砂災害警戒区域なし
- ☑津波浸水想定区域外

地下水取水制限なし

立地関連情報



項 目		現 況
用 地 状 況	面積	約15.2ha
	地盤の状況	地耐力(深度5m N値40程度)、標高6～7m
インフラ整備状況	電力	普通高圧、特別高圧(特別高圧の受電については応相談)
	用水	上水道(既設水道管から引き込み) 地下水(取水制限なし)
	排水	合併処理浄化槽による単独処理
災 害 リ ス ク	地震、津波、台風、高潮等への対応	浸水想定区域なし 土砂災害警戒区域なし 津波浸水想定区域外
交 通 体 系	鉄道	JR八日市場駅から約0.8km JR飯倉駅から約2.5km
	高速道路	匝瑳I.C.直結 横芝光I.C.約5km
	空港・港湾アクセス	成田国際空港から約20km 千葉港から約50km
	主要都市からの移動手段・所要時間	東京都心から約70km、千葉市から約40km 東京駅から特急しおさいで約90分、高速バスで約100分
雇 用	地元高等学校の卒業状況	千葉県立匝瑳高校、敬愛大学八日市場高校 卒業生数307人、就職者数25人(R6学校基本調査)
	人口予測(将来)	生産年齢人口(15歳～64歳) 令和12年16,424人、令和22年13,389人(R2人口ビジョン)

Case 1 タイヘイ株式会社（八日市場イ）

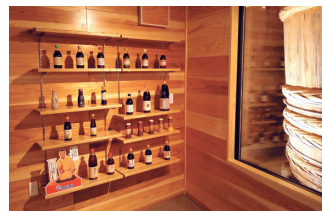


食品事業部食品一部 第二工場工場長
梶山 裕介 様

創業145年の食品メーカーとして、伝統製法の醤油を製造 地域との連携を強化しながら国内外へ事業を展開

当社は、明治13年に八日市場（現：匝瑳市）で“しょうゆ屋”として創業し、今年で145周年を迎えました。現在は全国へ幅広く事業を展開しておりますが、匝瑳市にある食品事業部（第一工場～第三工場）では、醤油やドレッシング、液体調味料のほか、チルド惣菜の製造を行っています。

自然豊かで田舎のイメージのある匝瑳市ですが、成田空港から近いことに加え、圏央道や外環道の整備が進み都心や関東近県とのアクセスが向上しました。歴史ある醤油蔵には、容量60石（約11,000ℓ）の巨大な杉木桶が110本以上並んでおり、蔵棲みの微生物の力で発酵・熟成させる「天然醸造木桶仕込み」こそ、タイヘイ醤油の特徴です。この規模の木桶を用いた醤油造りは国内でもほとんど例がありません。この希少性を付加価値とした海外展開を視野に入れている他、地域とのつながりをより深めるため地元産品を活用した商品開発にも力を入れていきたいと考えています



Case 2 リンテック株式会社（みどり平）



千葉工場長
中村 和喜 様

身の回りにある製品に使われているさまざまな粘着製品を製造 CO₂排出量ゼロに向けた取り組みを推進し、サステナブル社会を実現

当社は、ガムテープメーカーとして東京都で創業し、今年で設立91年目を迎えました。千葉工場は1984年に操業を開始し、今年で41年目となります。当工場では、日用品や食品の容器などに貼られるラベルをはじめ屋外看板や壁紙など、皆さんの身近なところで活躍する多様な粘着製品を製造しています。

昨年3月末の匝瑳I.C.開通により、物流アクセスがさらに向上しました。また匝瑳市は気候にも恵まれており、工場電力として利用する太陽光発電が安定している点も大きなメリットです。当工場において、匝瑳市の優遇制度を毎年活用させていただくことにより固定資産税の減免措置が受けられ、対象期間中は新たな設備投資が可能となったこともあり、今後は太陽光発電システムの拡充なども予定しています。グリーン電力の調達など、省エネルギー活動の推進によってCO₂排出量ゼロを目指した取り組みを図っていきます。



Case 3 四ツ葉油化株式会社（野手）



代表取締役社長
小鷹 昇 様

匝瑳市に立地して60年 向上する物流・人流メリットを活かし、地域との連携・発展を目指す

当社は、ボディシャンプー、化粧水、石鹸などのスキンケア製品や、シャンプー、トリートメントなどのヘアケア製品を開発・製造しており、匝瑳市に立地して60周年を迎えます。

この地域は、匝瑳I.C.が開通したことに加え、更なる機能強化が予定されている成田空港にも近いこと、物流や人流面でのメリットが大きいと感じます。また、地価が比較的安価であり、併せて市の優遇措置を活用することにより、新たな用地取得や設備投資がしやすいと感じました。当社の従業員は匝瑳市近隣から通勤していますが、気候が温暖で住環境が良いからか、明るく、人柄の良い方が多いことも魅力です。

近年はOEM製品の製造がメインとなっていますが、今後は当社の原点であり誇りである固形せっけんの製造にも力を入れ、お客様のニーズに応えていきたいと思っています。また、地域の皆様と連携し、地域と共に歩み、発展していく視点も大切にしていきたいと考えています。



主な優遇制度

匝瑳市の立地企業への支援

市では、工場や事業所の新設、増設を行った企業様に対し、一定の条件のもと奨励措置を行っています。対象は、製造業、情報通信業、運輸業、卸売業、学術・開発研究機関、宿泊業の建物、敷地及び償却資産です。

課税免除

1. 固定資産税の課税免除（上限無し）

事業従事者が5人以上の企業様で、取得価格が3000万円を超える建物、敷地及び償却資産に課せられる固定資産税を5年間免除します。

補助金

2. 雇用奨励補助金の交付（上限1000万円）

上記の奨励措置を受けた工場等で新たに市民の雇用を行った場合に、1人につき20万円の補助金を交付します。

千葉県の立地企業への支援

県においても、千葉県内へ新規立地を行う企業様に対し、一定の条件のもと補助金（建物に係る不動産取得税及び償却資産に係る固定資産税（1年分）の相当額）を交付しています。また、**匝瑳市は特定振興地域に該当するため、一部補助金の交付要件が緩和されます。**

補助金

1. 大規模投資企業立地（上限70億円）

投下固定資産額500億円以上、事業従事者300人以上で、千葉県の産業振興施策に合致するものとして知事が特に認める施設に対し補助金を交付します。

補助金

2. 本社立地（上限10億円）

延床面積500㎡以上、事業従事者50人以上の全業種を対象に、本社を立地する場合に補助金を交付します。

補助金

3. 研究所立地（上限10億円）

延床面積1000㎡以上（特定振興地域は500㎡以上）、事業従事者10人以上（特定振興地域は3人以上）の自然科学研究所を対象に、施設を立地する場合に補助金を交付します。

補助金

4. 工場立地（上限10億円）

延床面積1000㎡以上（特定振興地域は500㎡以上）、事業従事者10人以上（特定振興地域は3人以上）の製造業の工場を対象に、施設を立地する場合に補助金を交付します。

補助金

5. がんばる市町村連携（上限10億円）

延床面積1000㎡以上、事業従事者10人以上（特定振興地域は5人以上）の流通加工施設（特定振興地域は植物工場、情報サービス業、宿泊業、観光業の施設含む）を対象に、施設を立地する場合に補助金（建物に係る不動産取得税相当額）を交付します。なお、立地する市町村の企業立地に関する助成又は市町村税の課税免除等を受けることが要件です。

この他にも補助制度があります。

詳細はホームページをご覧ください。匝瑳市HP▶



千葉県HP▶



SOSA CITY

千葉県匝瑳市



コラム 「匝瑳の由来・語源」

匝瑳^{そうさ}という地名は、現存のものでは、奈良・東大寺正倉院に伝わる庸調^{ようちょう}（朝廷に納めた特産物）に見られる天平13年（741年）の記録が最も古いとされています。

地名の由来は、平安時代前期の歴史書「続日本後紀^{しよくにほんこうき}」によれば、5世紀の終わり頃から6世紀のはじめにかけて、畿内（現在の近畿地方）の豪族であった物部小事^{ものべのおごと}という人物が、坂東^{ばんとう}（現在の関東地方）を征した勲功によって、朝廷から下総国の一部を与えられ、匝瑳郡とし、小事の子孫が物部匝瑳氏を名乗ったと伝えられています。

匝瑳の語源については、諸説あって定まっていますが、発音での「さふさ」という地名があり、「さ」は「狭」で美しい、「ふさ」は「布佐」で麻の意で、“美しい麻のとれる土地”であったとする説や、「さ」は接頭語で、「ふさ」は下総国11郡中で最大の郡であったことに由来するという説があります。匝瑳は、「さふさ」に縁起のよい漢字を充てたものと考えられています。

問い合わせ
匝瑳市商工観光課 企業立地推進室
電話：0479-73-0014
mail：s-suishin@city.sosa.lg.jp

2025年4月発行